

事業所における自己評価結果(公表) 【児童発達支援】

公表:令和4年 2月 28日

事業所名 : 児童発達サポート ガリレオキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースをとっている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		適切に配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物の構造上、階段や段差もありますが、児童の安全面に配慮した環境を心がけている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		通所時は手指消毒を行い、換気にも十分に気を配っている。使用する玩具は支援活動の都度、拭き取り消毒を行っている。普段は、玩具や教材は、子どもたちの見えない場所へ片付けてあり、安全性も常に意識している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		その都度、1日、1週間の単位で、気づいた点などを話し合っています	。PDCAサイクルが十分に生かされていない面もあるので業務の見直しを図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今年度開所のため、今回より評価を実施する。さらにコロナウイルス感染症流行のため、評価表を十分に保護者へ周知し、活用出来なかった。業務改善を検討する。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今年度開所のため、今回より評価を実施する。ホームページは作成しているが、支援内容の変更のため2月中は休止している。会報は発行できなかった。今後は発達に関する会報をホームページ上に発行することを検討している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は、まだ不十分である。今後、検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		当初の常勤職員全てに、公的研修を行っている。他事業所からの講師を招いて勉強会、クリニック医師、職員を交えて、通所する子どもたちの特性(特に医療的なことにおいて)をカンファレンスし、意見を出し合っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の様子や発達状況、保護者からの聴き取りを基に、支援計画の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		運動性、社会性、コミュニケーション、巧緻性などの項目に分けた評価表を用いて、アセスメントを『見える化』している。今後、個々の状態に特化したアセスメントツールの作成を検討します。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインを基に支援内容の設定、必要な項目を選択している。特に運動発達に関しては、整形外科、リハビリテーション科医師に状態観察したうえで、必ず意見を反映している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員全体に周知をもっと図り、個々に沿った支援計画の知識を深めたい。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		整形外科、リハビリテーション科のクリニックを併設する事業所の特性を十分に生かした活動プログラムを心がけている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児童の発達状況に合わせたプログラムを検討・立案し、実施している。活動立案者が偏りがちなので専門職を生かした発達プログラムをより深く検討したい。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		興味関心、発達状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		1日の活動内容と目的を掲示し、すぐに確認出来るようにしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		1日の活動内容と目的達成の可否、次の支援に生かすことの出来る気づきを複数の支援員が日誌に記載し、周知を行っている。子どもの成長の話合いが、エピソード談になりがちなので、工夫した支援の振り返りにしたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		1日の活動内容と目的達成の可否、次の支援に生かすことの出来る気づきを複数の支援員が日誌に記載し、周知を行っている。子どもの成長の話し合いが、エピソード談になりがちなため、工夫した支援の振り返りにしたい。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、サブ支援計画を常時作成見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者の参加を行い、医療管理・監視が必要な子どもに対しては、事前に医師の情報を整理している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		感染症対策のため
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		該当なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等によって、情報共有の難しさを感じている。相互理解のために情報発信や療育の専門性を深めていく必要があると感じている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		該当なし
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター、他の児童発達支援事業所への見学、講師を招いての療育検討会等を開催した。感染症を考慮して保育所や幼稚園との情報共有が難しかったので、今後は意欲的な連携を図りたい。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在のところ、交流を控えています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		現在のところ、交流を控えています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、連絡帳、電話を活用して事業所内での様子を共有している。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングをするには専門的な技量を要するため、支援は行っていません。日々の療育での様子を伝えたり、家庭での様子を聴いたりしています。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前や契約時に個別で説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者に確認をしていただき、署名を頂いている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者からの子育ての悩み事に、定期的に相談を受けていない。就労する父母が多いため、公平性をもって対応出来ない。今後、相談しやすい環境(SNSの活用)の整備を検討したい。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会などの交流活動は控えている。現在のところ行っていない。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現在は、電話で主に対応している。保護者からの要望を取り入れやすい環境を構築する必要がある。	
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		連絡体制については、いくつかの方法を取り入れ、最終的に保護者から多く寄せられたSNSでの連絡方法を構築した。個人情報の取り扱いや事業所職員の働き方の問題も含めて、保護者の理解を得て、よりよい情報発信を検討していく。会報は発行できなかった。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いについては、保護者の署名はもちろん、職員間でも慎重に扱っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		意思疎通が適切に図られるように、個々に応じてわかりやすい言葉での説明や視覚的アプローチを取り入れて、コミュニケーションを図っている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待する行事等は控えている。感染に対する安全性を確保できる社会になったら計画を行いたい。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは、併設するクリニックと同様の対応を取っている。保護者への周知が不十分のため、対応を検討する。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		併設するクリニックと同様の対応をとっている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始の際に保護者の同意を得て、当事業所医師が直接かかりつけの医師との連携を図っている。さらに診療情報提供書にて確認を行っている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アセスメント時にアレルギーの有無を確認している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		リスクマネジメントに関する勉強会、研修会に参加し、リスクに関する意識を高めている。		
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修会に参加している。		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束等の適正化の研修を行っているが、該当児なし。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)